

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 わかもと製薬株式会社

コード番号 4512 URL <http://www.wakamoto-pharm.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石井 敬志

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 増田 康彦

TEL 03-3279-0371

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,272	△10.4	△169	△183.7	△101	△136.3	△63	△139.5
21年3月期第1四半期	2,534	—	202	—	280	—	161	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.85	—
21年3月期第1四半期	4.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	18,551	12,734	68.6	369.93
21年3月期	17,745	12,763	71.9	370.70

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 12,734百万円 21年3月期 12,763百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	4,800	△5.2	△70	△129.0	20	△94.3	10	△95.3	0.29
通期	9,840	△2.4	0	△100.0	160	△73.7	80	△77.2	2.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	34,838,325株	21年3月期	34,838,325株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	412,664株	21年3月期	408,379株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	34,427,471株	21年3月期第1四半期	34,468,415株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月15日に発表しました連結業績予想は、本資料において修正しております。なお、予想数値に関する事項は3ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績予想は、現地点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により、これらの業績予想とは異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における医薬品業界は、引き続き医療費抑制策の基調は変わらず、また、大衆薬市場も低迷が続いており、厳しい環境下で推移いたしました。

そのなかにあつて当社グループの医療用医薬品事業では、主力製品である「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」等の眼科領域製剤の販売促進に加え、昨年発売のアレルギー性結膜炎治療剤「レボカバステチン塩酸塩点眼液0.025%わかもと」、広範囲抗菌剤「オフロキサシゲル化点眼液0.3%わかもと」の後発品点眼薬2品目および、アレルギー性結膜炎迅速検査キット「アレルウォッチ涙液I g E」の普及活動に注力いたしました。

薬粧品事業では、主力製品「強力わかもと」の剤形追加製品として「顆粒わかもと」を昨年から発売し幅広いユーザーニーズに対応出来るよう販売活動に努めてまいりました。

その他の事業では、海外向け乳酸菌および点眼剤、医薬品原料の販売と他社受託品の受注に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高22億7千2百万円(前年同四半期比10.4%減)となり、営業損失1億6千9百万円(前年同四半期は営業利益2億2百万円)、経常損失1億1百万円(前年同四半期は経常利益2億8千万円)、四半期純損失6千3百万円(前年同四半期は四半期純利益1億6千1百万円)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

事業別の売上高の状況につきましては、医療用医薬品事業では、新発売の点眼製品3品目が売上に寄与しましたが、「ジクロード点眼液0.1%」、「リズモンTG点眼液」、「ゼペリン点眼液0.1%」が減少いたしました。その結果、売上高は15億4千万円(前年同四半期比7.4%減)となりました。

薬粧品事業につきましては、主力製品の「強力わかもと」、乳酸菌配合薬用歯磨き「アバンビーズ」が減少いたしました。その結果、売上高は4億8千5百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

その他の事業では、輸出用「わかもと」は増加しましたが、海外向け乳酸菌および点眼剤が減少いたしました。その結果、売上高は2億4千6百万円(前年同四半期比31.8%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、185億5千1百万円となり前連結会計年度末比8億6百万円(4.5%増)の増加となりました。流動資産は84億1千8百万円となり4億5千6百万円(5.1%減)の減少、固定資産は101億3千2百万円となり12億6千3百万円(14.2%増)の増加となりました。

流動資産が減少いたしましたのは、設備関係の支払により現金及び預金が減少したことが主たる要因であり、固定資産が増加いたしましたのは、相模大井工場において点眼剤製造設備建設のため、有形固定資産(建設仮勘定)が増加したことが主たる要因であります。

一方、負債の部は、58億1千6百万円となり前連結会計年度末比8億3千4百万円(16.7%増)の増加となりました。流動負債は35億7千8百万円となり2億7千8百万円(8.4%増)の増加、固定負債は22億3千7百万円となり5億5千5百万円(33.0%増)の増加となりました。

流動負債が増加いたしましたのは、設備関係の未払金が増加したことが主たる要因であり、固定負債が増加いたしましたのは、長期借入金が増加したことが主たる要因であります。

純資産の部は、127億3千4百万円となり前連結会計年度末比2千8百万円(0.2%減)の減少となりました。利益剰余金が減少したことが主たる要因であります。この結果、自己資本比率は、前期末の71.9%から68.6%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末におけるキャッシュ・フローの残高は、前連結会計年度末から2億6千6百万円減少し、21億9千6百万円となりました。その内容の主なものは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は1億9千3百万円となりました。(前年同期に比べ収入が3億5千9百万円減少)

この主な要因は、非資金支出項目である減価償却費が1億5千万円、売上債権の減少が2億5百万円あった一方、税金等調整前四半期純損失が9千9百万円、賞与引当金の減少が1億7千3百万円、法人税等の支払が1億1千7百万円あったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により減少した資金は10億4百万円となりました。(前年同期は5億

3千4百万円の資金の増加)

この主な要因は、有形固定資産（主に相模大井工場の設備）の取得が9億9千3百万円あったためであります。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動により増加した資金は5億4千3百万円となりました。（前年同期は7千1百万円の資金の減少）

この主な要因は、長期借入れによる収入が6億1千5百万円あった一方、配当金の支払が6千9百万円あったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の売上高は、医療用医薬品事業では主力の点眼剤の販売が低調であったことと、昨年上市したアレルギー用診断薬などの新製品が伸長しなかったため減収となりました。化粧品事業においても主力の強力わかもとが減収となりました。また、その他の事業では輸出環境の悪化のため海外向け乳酸菌が減収となりました。

今後、新製品の上市などにより第1四半期の状況からは回復が見込まれますが、厳しい状況は継続することが予測されますので、業績予想の下方修正をいたします。

同日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」（連結・個別）を発表しております。

なお、平成21年5月15日の決算短信で発表いたしました連結業績予想との差異は以下の通りです。

（第2四半期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,970	80	160	100	2.90
今回修正予想（B）	4,800	△70	20	10	0.29
増減額（B－A）	△170	△150	△140	△90	－
前期実績	5,065	241	353	212	6.17

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	10,200	250	420	240	6.97
今回修正予想（B）	9,840	0	160	80	2.32
増減額（B－A）	△360	△250	△260	△160	－
前期実績	10,080	203	607	351	10.20

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものにつ

いてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の評価方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等を見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,220	1,252,442
受取手形及び売掛金	3,954,297	4,159,825
有価証券	1,211,384	1,210,796
商品及び製品	963,775	1,016,674
仕掛品	439,414	414,914
原材料及び貯蔵品	388,890	354,997
未収消費税等	26,110	78,086
繰延税金資産	346,627	297,435
その他	122,256	111,781
貸倒引当金	△19,000	△21,000
流動資産合計	8,418,978	8,875,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,039,532	2,060,049
機械装置及び運搬具（純額）	948,315	1,030,573
土地	337,241	337,241
建設仮勘定	3,230,172	1,990,188
その他（純額）	140,624	132,638
有形固定資産合計	6,695,886	5,550,691
無形固定資産		
特許権	5,156	6,875
借地権	67,707	67,707
ソフトウェア	49,051	50,621
その他	6,318	6,343
無形固定資産合計	128,234	131,547
投資その他の資産		
投資有価証券	1,767,526	1,559,044
保険積立金	730,208	723,479
繰延税金資産	581,618	674,630
その他	228,657	229,702
投資その他の資産合計	3,308,010	3,186,856
固定資産合計	10,132,130	8,869,095
資産合計	18,551,109	17,745,048

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成21年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	908,746	984,767
未払金及び未払費用	991,656	655,218
短期借入金	38,000	—
未払法人税等	8,735	130,604
未払消費税等	553	888
賞与引当金	119,580	292,900
役員賞与引当金	—	21,130
返品調整引当金	10,000	12,000
設備関係支払手形	87,622	29,064
設備関係未払金	1,387,642	1,146,666
その他	26,089	26,928
流動負債合計	3,578,625	3,300,167
固定負債		
長期借入金	577,000	—
退職給付引当金	1,356,412	1,369,827
役員退職慰労引当金	165,900	173,800
長期預り金	4,689	4,605
長期未払金	133,496	133,496
固定負債合計	2,237,498	1,681,729
負債合計	5,816,124	4,981,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,395,887	3,395,887
資本剰余金	2,675,826	2,675,826
利益剰余金	6,681,658	6,831,407
自己株式	△176,557	△174,869
株主資本合計	12,576,814	12,728,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	158,170	34,899
評価・換算差額等合計	158,170	34,899
純資産合計	12,734,984	12,763,150
負債純資産合計	18,551,109	17,745,048

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,534,801	2,272,137
売上原価	899,673	968,706
売上総利益	1,635,127	1,303,430
販売費及び一般管理費	1,432,695	1,472,788
営業利益又は営業損失(△)	202,431	△169,358
営業外収益		
受取利息	4,338	747
受取配当金	17,006	17,295
受取地代家賃	7,969	6,471
受取技術料	52,442	50,929
その他	7,119	5,413
営業外収益合計	88,876	80,857
営業外費用		
支払利息	—	1,932
固定資産除却損	4,672	4,662
寄付金	4,252	4,519
その他	1,651	2,371
営業外費用合計	10,576	13,485
経常利益又は経常損失(△)	280,731	△101,986
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,000
特別利益合計	—	2,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280,731	△99,986
法人税、住民税及び事業税	43,497	4,474
法人税等調整額	76,101	△40,785
法人税等合計	119,598	△36,311
四半期純利益又は四半期純損失(△)	161,132	△63,674

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	280,731	△99,986
減価償却費	114,696	150,773
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△12,373	△13,415
賞与引当金の増減額(△は減少)	△196,198	△173,320
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,048	△21,130
受取利息及び受取配当金	△21,345	△18,043
支払利息	—	1,932
有形固定資産除却損	4,672	4,662
売上債権の増減額(△は増加)	158,240	205,527
たな卸資産の増減額(△は増加)	△82,331	△5,494
仕入債務の増減額(△は減少)	57,077	△76,020
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	51,975
未払消費税等の増減額(△は減少)	△720	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△7,900
その他	330,687	295,374
小計	613,089	292,936
利息及び配当金の受取額	21,345	18,043
法人税等の支払額	△81,379	△117,395
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,055	193,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	700,000	—
有形固定資産の取得による支出	△146,229	△993,685
無形固定資産の取得による支出	△1,000	△4,097
投資有価証券の取得による支出	△647	△605
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△17,211	△5,748
投資活動によるキャッシュ・フロー	534,912	△1,004,136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2,375	△1,688
長期借入れによる収入	—	615,000
配当金の支払額	△68,799	△69,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,175	543,918
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,016,792	△266,633
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,307	2,463,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,032,099	2,196,605

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,663,269	510,288	361,242	2,534,801	—	2,534,801
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	13,487	13,487	(13,487)	—
計	1,663,269	510,288	374,729	2,548,288	(13,487)	2,534,801
営業利益	164,001	6,373	32,056	202,431	—	202,431

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	医療用 医薬品事業 (千円)	化粧品事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	1,540,503	485,310	246,322	2,272,137	—	2,272,137
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	12,440	12,440	(12,440)	—
計	1,540,503	485,310	258,762	2,284,577	(12,440)	2,272,137
営業利益又は営業損失(△)	△51,865	△77,826	△39,666	△169,358	—	△169,358

(注) 1. 事業区分の方法は、販売先及び流通経路を考慮し、医療用医薬品事業、化粧品事業、その他の事業にセグメンテーションをしております。

2. 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主な製品・商品
医療用医薬品事業	医療用医薬品
化粧品事業	一般用医薬品、医薬部外品、健康食品
その他の事業	医薬品原料、診断薬、輸出 他

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間については海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。